

松禪寺報

石室山 松禪寺

住職 高橋 乾峰

〒 668-0363

兵庫県豊岡市但東町栗尾 469

電話 0796-55-0034

FAX 0796-55-0066

Mail kenpou@syozen.com

<http://syozen.com>

<https://www.facebook.com/syozenji>

発行日 平成 25 年 12 月 20 日

第 56 号



新しき年を
迎えるにあたり

過ぎ去った日のことは悔いず、

まだ来ない未来にはあこがれず、

取り越し苦労をせず、

現在を大切にふみしめてゆけば、

身も心も健やかになる

今日すべきことを明日に延ばさず、

確かにしていこうとする、

よい一日を生きる道である

（仏教聖典）

大本山妙心寺へ参拝してきました

世界遺産の二条城や京の造り酒屋・町家文化も見学



大本山妙心寺参拝記念

平成25年10月31日

大本山妙心寺への団体参拝を、10月31日(木)に行いました。参加したのは桂昌寺檀信徒5人、松禪寺檀信徒15人ですが、住職は当日葬儀があり帰りに合流いたしました。午前6時頃、参加者を順次載せながら但東町を出発し、午前9時過ぎには妙心寺の花園会馆に到着しました。小憩の後、案内の和尚さんに連れられて、妙心寺の基を開かれた花園法皇様が祀られている玉鳳院、妙心寺の開山様である無相大師様が眠っている無相大師様開山堂へといらつしやる開山堂へとお参りました。さらに、狩野探幽守信筆の雲龍図で有名な法堂なども拝観しました。



▲昼食をとった神泉苑平八＝京都市中京区

午前11時過ぎ、微妙殿において団参法要がありました。妙心寺派宗務本所の役員さんをはじめ、導師は山内靈雲院の曇華室老大師がおつとめいただき、温かいお言葉も頂戴しました。特別供養を申し込まれた方には、塔婆の読み上げもあり、また、10回目参拝者には老大師より賞状と記念バッジが授与されました。最後に布教師・長島宗深師より「まあーい」法話を拝聴し、記念写真を撮って花園会馆に戻りました。小憩後、職員皆さんのお見送りをいただいて本



▲キンシ正宗・堀野記念館を観覧＝京都市中京区

山を後にしました。昼食は、平安京最古の史蹟・神泉苑庭園にある「神泉苑平八」で、京会席風の平八御膳をいただきました。お酒ものまれ、皆さん良いお顔が並びました。午後は、世界遺産の二条城に行き、菊花展や京老舗土産店で買い物も楽しみました。さらに、造り酒屋の歴史と町家文化を伝えるキンシ正宗・堀野記念館を訪れ、試飲も楽しみました。帰りの車中はお酒も入り、終始和やかな雰囲気できき参拝となりました。ご参加いただきました皆さん、お疲れ様でした。

達磨忌と開基・開山忌 を執り行いました



山陰東教区が花園地方大会を開催

10月に和田山で寺院役員研修と女性部大会として実施

11月3日は、当山の達磨忌と開基・開山忌でした。11月3日とい

えば晴れの特異日ではないかと思っていたのですが、今年は雨模様でした。そんな中、午前11時より法要を執行。お昼は、当番さんが調理された茶飯、ふろふき大根、けんちん汁、白和えを霊供膳としてお供えし、それとまったく同じ料理を皆でいただくというのが供養です。

達磨忌は、達磨大師の遺徳に深く感謝するための法要です。達磨大師はインドから中国に渡って、禅の教えを伝えた人です。そのため「初祖菩提達磨円覚大師」と呼ばれ、禅宗の初祖として祀られて

います。法要では、大師の木像と掛け軸をかけ、遺徳を偲びました。併せて、松禪寺を開かれた開基・来翁祖諱和尚、その禅師の師の筋

にあたる勧請開山・一笑禅慶大禅師の法要も執り行いました。午後6時からは、兼務寺院でも達磨忌を同様に執行しました。

臨済宗妙心寺派山陰東教区の花園地方大会が10月19日、午前9時から和田山町の幸徳殿を会場に開かれました。午前9時からは寺院役員研修として、午後は女性部大会として企画されました。

午前の寺院役員研修では、生活信条の唱和に始まり、読経やあいさつ、また、長年教区花園会の会長を務められた黒田亮氏(養父市・寶積寺総代)に感謝状が伝達されました。その後、妙心寺派花園会本部長・鮎川博道師の「おかげさま」と題した基調講話がありま



▲花園会本部長・鮎川師の法話に聞き入る参加者

午前の寺院役員研修では、生活信条の唱和に始まり、読経やあいさつ、また、長年教区花園会の女性部会長を務められた藤井茂登子さん(和田山町・観音寺女性部会長、現故人)に感謝状が伝達されました。続いて午後2時20分から妙心寺派花園会本部長・鮎川博道師の「女性部の役割」と題した法話を、休憩をはさんで、運動ライフサポーター・松本順子氏による「体と心の健康教室」～日常生活を快適におくるためお運動とはくについて講演されました。実技もふまえ和やかな講演でした。

加、冥とは目には見えないが大切なもの。学校給食での「いただきます」の考え方にも触れられ、日本人は古来より食事の時は手を合わせて、いただきますと言ってきた。他の命をいただくから、いただきます。合掌は、お釈迦様以前のインドでの挨拶の方法。心を鎮め整える方法。目に見えない、大いなるもの支えられていることに気づくこと。形として現れているその奥底にあるものに気づくことだと、話されました。

午後1時半から開会行事があり、午前と同様に生活信条の唱和に始まり、読経やあいさつ、また、長年教区花園会の女性部会長を務められた藤井茂登子さん(和田山町・観音寺女性部会長、現故人)に感謝状が伝達されました。続いて午後2時20分から妙心寺派花園会本部長・鮎川博道師の「女性部の役割」と題した法話を、休憩をはさんで、運動ライフサポーター・松本順子氏による「体と心の健康教室」～日常生活を快適におくるためお運動とはくについて講演されました。実技もふまえ和やかな講演でした。

除夜の鐘を撞きましょう

行く年来る年、大晦日は除夜の鐘を撞いてみませんか。今年も大晦日には、お参りの皆さんによって除夜の鐘を撞きます。

除夜とは、除日じょじつの夜といい、旧年を除く日と辞書にはあります。その夜に鳴らす「除夜の鐘」は、年を越すにあたり人の心にある百八つの煩惱を清らかな鐘の響きで鎮め、新しい気持ちで新年を迎えようとする仏事のひとつです。

12月31日(火)の午後11時45分頃から撞き始める予定です。本堂、薬師堂へのお参りもできます。温かい飲み物なども用意していますので、ぜひお参りください。

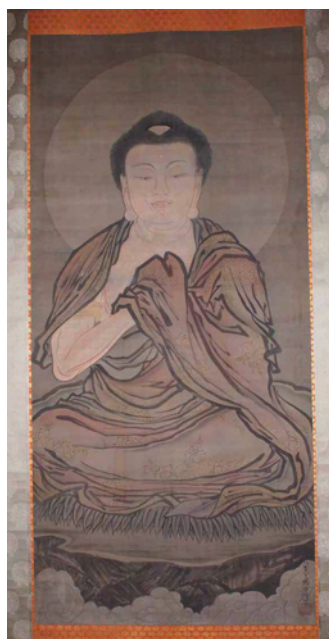


12月8日は成道会じょうどうえ

成道会じょうどうえは、お釈迦さまがブダガヤの菩提樹の下で悟りを開かれ、仏陀ぶつだ(真理を悟った人)となられたとされる12月8日に行う法要です。成道の「道」とは悟りのことで、成道とは「悟りの完成」を意味し

ます。降誕会ごうたんえ(4月8日)、涅槃会ねはんえ(2月15日)とともに、お釈迦さまにまつわる三大法会さんぶつぎ(三仏忌)として、古来より重んじられていました。

松禪寺では、出山釈迦図しゅつさんしゃかず(永い苦行が正しい悟りへの道でないことを知って深山を出る釈迦の姿を描いたもの)と雪舟筆と書かれたお釈迦さまの掛け軸を掛けて、読経致しました。



▲釈迦図(松禪寺蔵)

平成26年

年忌法要

平成26年(2014年)に年忌法要を迎える故人の歿年度は左記のとおりです。法要の実施日については、なるべく早めにご連絡ください。年忌正当年にあたるか、ご先祖様がおられるかの確認は、寺へ電話でお尋ねくださるか、年忌操出を本堂に張り出しています

ので、寺にお越しの際にご覧ください。また、年明けには個別に通知を差し上げます。

【平成26年度年回表】

●一周忌	平成25年没
●三回忌	平成24年没
●七回忌	平成20年没
●十三回忌	平成14年没
●十七回忌	平成10年没
●二十五回忌	平成2年没
●三十三回忌	昭和57年没
●五十回忌	昭和40年没
●百回忌	大正4年没

お知らせとお願い

◎責任役員(総代)の任期満了について

本年末日をもって総代(花園会役員)の任期5年が満了となります。総代6名は各集落から檀信徒の推薦などによって選ばれ、住職が任命するよう規則に定められています。護持運営のためには是非とも選出にご協力いただき、万事円満に進みますよう全檀信徒のご理解とご協力をお願いいたします。なお、選出にあたり留任の妨げはありません。

◎新年度の評議員について

評議員14名については、一年で交代される地区が多いのですが、新たに評議員となられた方のお名前の報告を速やかにお願います。評議員総会は、明年2月中旬を予定しています。



▲出山釈迦図